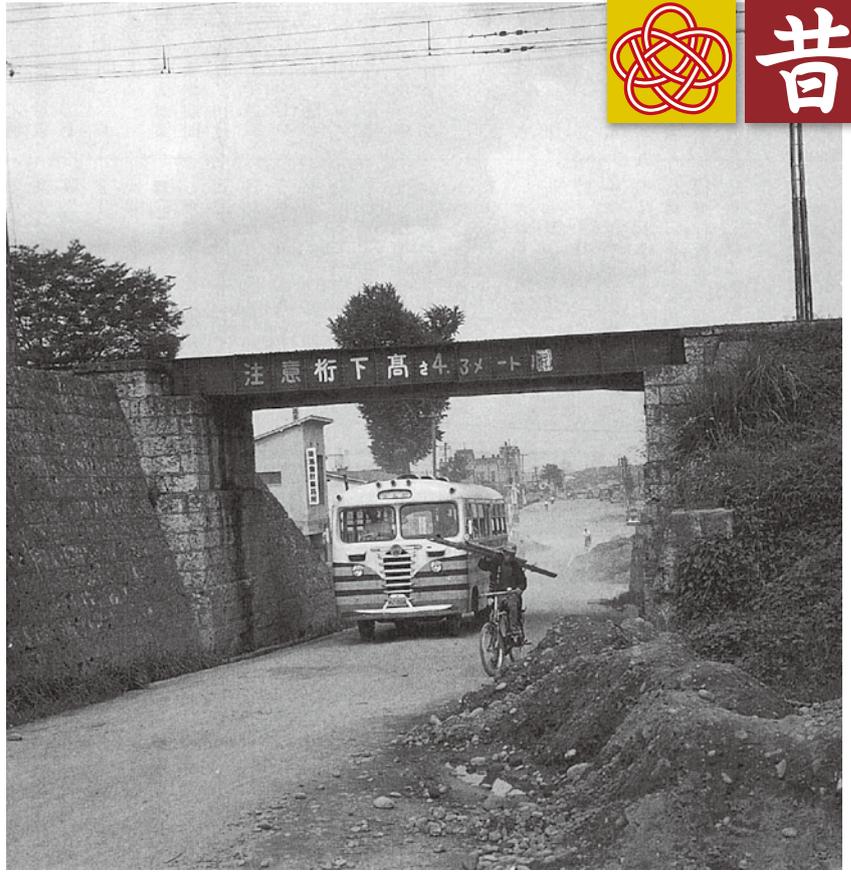




いちょう通り (昭和33年)

東武宇都宮線ガードの西側から東に向けて撮影された「いちょう通り(南大通り)」の今昔。

戦後間もない頃のいちょう通りは、とても狭く、自動車が通るのもやっとでした。昭和33年の写真は、道路の拡張工事が進んでいる様子がうかがえます。昭和34年に、現在の幅の道路と新しい東武線ガードが完成しました。中央に見える「旭町の大銀杏^{おおいちやう}」だけは、今も変わっていません。



はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

女性の力を農業へ

内閣総理大臣表彰

県名誉農業士

御子貝^{みこがい}

荒江^{あらい}さん



6月に男女共同参画社会づくりの功労者として、内閣総理大臣表彰を受けた御子貝さん。女性農業者の仲間たちと、野菜や果物などの直売を行う「アグリランドシティショップ」を中心市街地のデパート内に出店するなど、地域農業の振興や女性農業者の地位向上に貢献したことが評価されました。「苦勞を一緒に乗り越えてきた仲間を支えられ、ここまでやってこれました」と周囲への感謝の気持ちを忘れません。

あると思いましたが」と活動のきっかけを振り返ります。30年ほど前に直売を始めた時には、周囲からさまざまな意見もあつたそうです。それでも「自分たちで作った作物を自分たちの手で売ることが、女性農業者の自覚につながる」と、自分の信念を大切にし、少しずつ理解者を増やしてきました。「女性の持つ家族を思う優しさ、食を大切にすることを大切にしていきたいです。農家が元気でなければ、農業の発展はありません」という御子貝さん。今日も女性農業者の先頭に立ち、活躍しています。